



2020年12月期 第2四半期 決算説明レポート

1. 2020年12月期 第2四半期 概況
2. 事業環境認識、継続的な取り組み
3. 2020年12月期 業績予想
4. 参考資料



サマリー

■ 2020年12月期 第2四半期 概況

- ・売上高861百万円、営業利益△85百万円
- ・一部案件において新型コロナウイルス感染症の影響により納期に変更が生じるも、前年同期比で32.5%の増収
- ・利益面では人員配置コントロールなどプロジェクト推進の効率化も進め、計画通りに進捗

■ 事業環境認識、継続的な取り組み

- ・新型コロナウイルス感染症の影響によりIT投資需要が一層加速
- ・「開発・フロー型」から「利用型・ストック型」のビジネスモデルへの転換を推進
- ・既存ビジネスで培ってきた「強み」を活用して事業領域の拡大を努めるとともに積極的な技術投資を実行、新たなシステム・ソリューションサービスを提供して受注拡大を図る

■ 2020年12月期 業績予想

- ・売上高2,313百万円（前期比+323百万円）、営業利益144百万円（前期比+19百万円）を見込む
- ・新型コロナウイルス対策と影響度
健康、安全を第一に考え業務遂行に支障が出ないようテレワークを実施
現在は既存の受託案件について進行に大きな影響はないが、様々なリスクを想定しつつ期初計画に沿って進める
- ・前期同様1株当たり5円の配当を予定

1. 2020年12月期 第2四半期 概況



株式会社トレードワークス、浅見でございます。

- ・世界中で猛威をふるう新型コロナウイルス感染症で、お亡くなりになられた方々および、ご遺族の皆様にご哀悼の意を申し上げますとともに、現在も困難な状況にいらっしゃる方々にお見舞い申し上げます。
- ・本来でしたら、決算説明会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大予防のために、動画配信とさせていただきます。
- ・それでは、2020年第2四半期決算の概況をご説明させていただきます。

目次
1. 2020年12月期 第2四半期 概況
2. 事業環境認識、継続的な取り組み
3. 2020年12月期 業績予想
4. 参考資料

- ・始めに
2020年12月期 第2四半期 概況
 - ・2番目に
事業環境認識、継続的な取り組み
 - ・最後に
2020年12月期 業績予想
- について、ご説明いたします。

1. 2020年12月期 第2四半期 概況

まず、2020年12月期 第2四半期 概況 についてご説明いたします。

1. 2020年12月期 第2四半期 概況

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

■ 2020年12月期 第2四半期 業績サマリー

業績

売上高	営業利益	四半期純利益
861百万円 (前年同期比32.5%増)	△85百万円 (前年同期 △79百万円)	△59百万円 (前年同期 △56百万円)

ポイント

- 新型コロナウイルス感染症が社会に猛威を振るう中、一部の案件において納期変更が生じたものの、前年同期と比べ、大幅な増収。
- 利益面では、戦略的投資、新サービスへの取り組みのための先行費用をこなしつつ 人員配置コントロールなどプロジェクト推進の効率化も進め、前年同期で減益も計画通りに進捗。
- 下期での業績積み上げにより通期では前期比約15%の増収増益を目指す。

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

2020年12月期 第2四半期につきましては、

- ・一部の案件において新型コロナの影響で納期の変更が生じたものの、売上高8億6千百万円、前年同期比で32.5%の増収となりました。
- ・利益面では、戦略的投資、新サービスへの取り組みのための先行費用を計上いたしておりますが、人員配置コントロールなどプロジェクト推進の効率化も進め、営業利益は、前年同期では減益となりましたが、計画通りに進捗いたしております。
- ・下期での業績積み上げにより、通期では前期比約15%の増収増益を目指しております。

1. 2020年12月期 第2四半期 概況

■ 2020年12月期 第2四半期 業績ハイライト

30%超の増収。各段階利益は期初計画どおりの進捗。

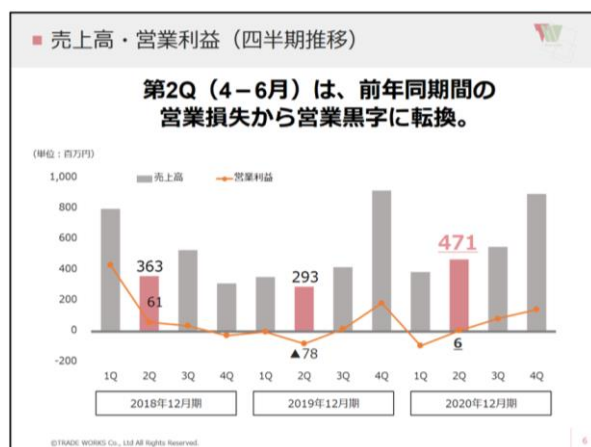
(単位：百万円)

項目	2019.12期 2Q		2020.12期 2Q		増減額	前年比
売上高	649		861		211	132.4%
原価	529	81.3%	730	84.8%	201	138.0%
売上総利益	120		130		9	107.9%
販管費	200	30.8%	216	25.1%	15	107.7%
営業損失	▲79		▲85		▲6	
経常損失	▲78		▲84		▲5	
四半期純損失	▲56		▲59		▲2	

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

続きまして、2020年12月期 第2四半期 業績ハイライトにつきまして、ご説明させていただきます。

第2四半期終了時点では、約8,500万円の営業損失となっておりますが、通年では当初業績予想どおりに進捗していく予定でございます。



続きまして、売上高・営業利益（四半期推移）についてご説明させていただきます。

- ・ 2020年12月期第2四半期は、昨年同期の営業損失から、若干ではありますが黒字に転換しております。
- ・ お客様へのシステムが導入される時期により、四半期の売上高が大きく変動する傾向が続いております。
- ・ 2020年12月期は、売上高・営業利益共に、下期、特に第4四半期に集中する計画となっております。

1. 2020年12月期 第2四半期 概況

■ 貸借対照表

	2019.12期	2020.12期 2Q	増減額
流動資産	1,162	985	▲176
現金及び預金	422	678	255
売掛金	688	140	▲547
固定資産	585	609	23
有形固定資産	104	97	▲7
無形固定資産	288	295	6
投資その他の資産	192	216	24
資産合計	1,748	1,595	▲153

	2019.12期	2020.12期 2Q	増減額
流動負債	218	137	▲81
買掛金	99	82	▲16
未払法人税	38	4	▲33
固定負債	63	67	3
純資産合計	1,466	1,390	▲75
負債・純資産合計	1,748	1,595	▲153

(単位：百万円)

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

続きまして、2020年度第2四半期の貸借対照表について、ご説明させていただきます。

- ・総資産は前期末より1億5,300万円減少し、15億9,500万円となりました。
- ・売掛金が前期末比で減少しておりますが、昨年12月は多くの案件のリリースが集中し、前期末時点の売掛金の残高が大きくなったことが、主な要因となっております。
- ・流動負債は前期末より8,100万円減少し、1億3,700万円となりました。
- ・純資産は前期末より7,500万円減少し、13億9,000万円となっております。

■ 第2Qまでの実施事項

プロジェクト管理を徹底 新型コロナ禍にあっても開発などの進捗に支障がないよう、速やかにテレワークスタイルを確立
人材の獲得 成長の要となる人材採用を積極的に実施
データセンター増強など戦略的投資を継続 ストック型ビジネスモデルへの転換を目指す
新サービスへの取り組み 複数のプロジェクトに着手

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

2020年第2四半期につきましては、

- ・新型コロナ禍においても開発などの進捗に支障が出ないよう、速やかにテレワークスタイルを確立、実施いたしました。
- ・また、成長の要となる人材採用を積極的に行ってまいりました。
- ・引き続きストック型ビジネスモデルへの転換を目指し、投資を継続いたしております。
- ・当社の事業拡大を図るために、新サービスに向け複数のプロジェクトに着手しております。

2. 事業環境認識、継続的な取り組み

事業環境認識・当社の取り組みについて、ご説明させていただきます。

2. 事業環境認識・当社の取り組み

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

■ 事業環境認識 <IT全体>

新型コロナの影響により下記の状況は一層加速

IT投資需要の増加

- | | |
|---|---|
| <p>👍 企業DX化の加速</p> <p>👍 自動化ニーズの高まり
▶ 安全かつ効率的な業務プロセス構築に対応</p> | <p>👍 AI、IoT技術を利用した新しいビジネスの創出</p> <p>👍 フィンテックによる新たなサービスの提供</p> |
|---|---|

課題

- | | |
|---|--|
| <p>☑ 安全性、業務効率化への対応力</p> <p>☑ 新サービスの開発能力</p> | <p>☑ 優秀なエンジニアの確保、育成</p> <p>☑ プロジェクトマネジメント能力</p> <p>☑ 新技術の取得、対応</p> |
|---|--|

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

当社の属する情報サービス業界におきましては、

- ・新型コロナウイルスの影響により、テレワーク等事業環境が激しく変化しており、企業のDX化が加速、自動化ニーズの高まりにより、AI・IoT技術を利用した新しいビジネスの創出及び、フィンテックによる新たなサービスの提供が求められております。
- ・課題といたしましては、より一層、安全で効率的に業務を管理し、プロジェクトを遂行するために、優秀なエンジニアの確保と育成、プロジェクトマネジメントのスキルアップが必要不可欠となっております。
- ・また、新サービスの開発を行うため、新技術の取得も、併せて大変重要であると考えております。

2. 事業環境認識、継続的な取り組み

■ 今後の取り組み

通期計画の達成
 上期の受注・開発は順調に進捗、下期に売上が集中する見通し。
 案件のマネジメント徹底により通期計画の達成を目指す。

利用型・ストック型ビジネスモデルへの転換
 従来の「開発・フロー型」から「利用型・ストック型」へ
 ビジネスモデルの転換を推進。
 そのための戦略的投資を積極的に実施し、
 早期のモデル転換と高収益体制の構築に取り組む。

引き続き人材採用を強化
 上期は国内及び海外の新卒採用5名を含む14名のエンジニア増
 員に成功。
 今後も将来の事業成長を担う優秀な人材確保に注力。

©TRADE WORKS Co., Ltd. All Rights Reserved.

今後の主な取り組みといたしましては、

- ・ 上期の受注開発は、順調に進捗しており、下期に売上が集中する見通しとなっております。案件のマネジメント徹底により、通期計画の達成を目指してまいります。
- ・ また、従来の「開発・フロー型」から「利用型・ストック型」へビジネスモデルの転換を引き続き推進しております。
- ・ そのための戦略的投資を積極的に実施し、モデル転換と高収益体制の構築に取り組んでまいります。
- ・ 上期は、国内及び海外の新卒採用5名を含む、14名のエンジニア増員を達成することが出来ました。引き続き、将来の事業成長を担う優秀な人材確保に取り組んでまいります。

■ 成長戦略

ビジネスモデルの転換
 利用型・ストック型ビジネスモデル比率のUP **収益力拡大**
ストック比率UP

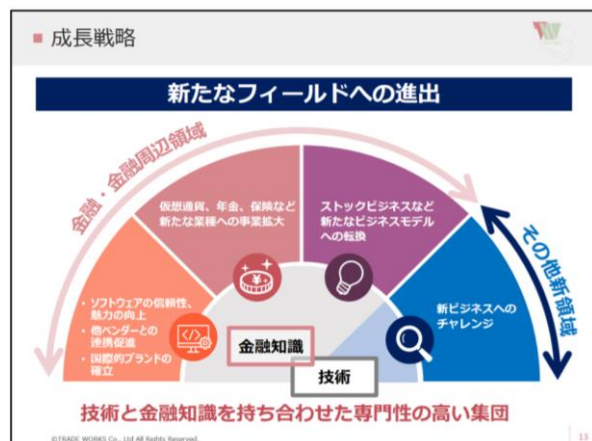


©TRADE WORKS Co., Ltd. All Rights Reserved.

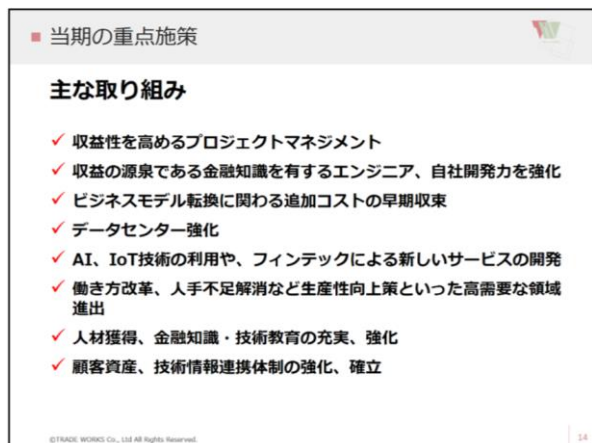
当社の成長戦略としまして、

- ・ 安定的な収益力向上を図るため、創業当時から、私共は金融システム、特にトレーディング/ディーリングシステムのパッケージを制作し、それをお客様に提供する開発先行の「開発・フロー型」からサービスを提供する「利用型・ストック型」のビジネスモデルへの転換を推進しております。
- ・ これにより国内技術者不足に対応し、顧客の多様なITニーズに応えるとともに、会社の成長余力の確保に努めております。
- ・ また、運用サービスについては共通基盤を構築することにより、データセンタービジネスの収益力の一層の向上に努めてまいります。

2. 事業環境認識、継続的な取り組み



- ・当社は、既存ビジネスで培ってきた「強み」を活用した事業領域の拡大に努めるとともに、積極的な技術投資を実行し、新たなシステム・ソリューションサービスを提供することで、受注拡大を図ってまいります。
- ・また、当社の技術と業務での強みを生かした提案活動を実施していくことで、新たな案件の獲得、新規顧客の開拓を進め、取引の拡大に注力してまいります。



2020年12月期の重点施策といたしましては、

- ・収益性を高めるプロジェクトマネジメント
- ・収益の源泉である金融知識を有するエンジニア、自社開発力を強化
- ・ビジネスモデル転換に関わる追加コストの早期収束
- ・データセンター強化
- ・AI、IoT技術の利用や、フィンテックによる新しいサービスの開発
- ・働き方改革、人手不足解消など生産性向上策といった高需要な領域進出
- ・人材獲得、金融知識・技術教育の充実、強化
- ・顧客資産、技術情報連携体制の強化、確立

を中心に取り組んでおります。

3. 2020年12月期 業績予想

2020年12月期業績予想につきましてご説明させていただきます。

3. 2020年12月期 業績予想

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

■ 2020年12月期 業績予想

**引き続き戦略投資を行いつつ、
確実な通期計画の達成を目指します。**

(単位：百万円)

項目	2018.12期	2019.12期	2020.12期 (予)	増減額	前期比
売上高	2,011	1,989	2,313	323	116.3%
営業利益	509	124	144	19	115.6%
経常利益	509	125	144	18	114.4%
当期純利益	362	89	100	10	111.9%

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

16

2020年12月期業績予想につきましては、
16%の増収、営業利益は15%増益と
予想を据え置いております。

3. 2020年12月期 業績予想

■ 新型コロナウイルス対策と影響について

緊急事態宣言解除後も、足元では新規感染者が再び増加傾向で推移しており、依然として予断を許さない状況であります。

社員、取引先の皆様の健康、安全を第一にすることはもちろん、業務遂行に支障が出ないよう、テレワークを実施しております。

当社は、第2四半期現在は、既存の受託案件について、その進行に大きな影響をきたしていません。しかし乍ら、当社の属する情報サービス産業界においては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う内外経済の急減速による収益の減少や企業マインドの悪化を背景に設備投資を見送る動きが広がっております。今後、顧客企業等のビジネス状況変化により、当社ビジネスへ影響を及ぼす可能性もございます。様々なリスクを想定しつつ、期初計画に沿って進めて参ります。

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

新型コロナウイルス対策と影響につきましてご説明させていただきます。

- ・緊急事態宣言解除後も、足元では新規感染者が再び増加傾向で推移しており、依然として予断を許さない状況であります。
社員、取引先の皆様の健康、安全を第一に配慮し、業務遂行に支障が出ないよう、テレワークを実施しております。
- ・当社は、第2四半期現在は、既存の受託案件について、その進行に大きな影響をきたしていません。
しかし乍ら、当社の属する情報サービス産業界においては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う内外経済の急減速による収益の減少や企業マインドの悪化を背景に設備投資を見送る動きが広がっております。
- ・今後、顧客企業等のビジネス状況変化により、当社ビジネスへ影響を及ぼす可能性もございます。
様々なリスクを想定しつつ、期初計画に沿って進めてまいりたいと思っております。

■ 株主還元について

**経営基盤の強化を最優先し、
将来の事業展開と内部留保とのバランスを考慮し、
利益配分を実施**

前期同様1株当たり5円の配当を予定

項目	2018.12期	2019.12期	2020.12期(予)
配当金(1株)	5円	5円	5円

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

最後に、株主還元につきましては、

昨年に引き続き1株当たり5円の配当を予定しております。

以上、
2020年12月期第2四半期決算のご説明とさせていただきます。

本日はご視聴ありがとうございました。

4. 參考資料

參考資料

©TRADE WORKS Co. Int All Rights Reserved

The diagram features a central text box with the Japanese text "技術と金融知識を持ち合わせた専門性の高い集団" (A highly specialized group with both technology and financial knowledge). Below this, two rounded rectangular boxes are connected by a large "×" symbol. The left box is red and contains the word "技術" (Technology). The right box is blue and contains the words "金融知識" (Financial Knowledge). Below each box is a list of specific fields or services.

技術 × 金融知識

- ・ 最新テクノロジー
- ・ クラウド
- ・ A I
- ・ ビッグデータ
- ・ R P A
- ・ パーチャルリアリティ
- ・ Fintech
- ・ 音声認識

- ・ 株式
- ・ 投資信託
- ・ F X ・ C F D
- ・ 保険
- ・ 仮想通貨
- ・ 年金

4. 参考資料

■ 継続的な取り組み

ビジネスモデル改革を進め

- ① 予期せぬ不採算案件の発生
- ② 製品及びサービスへの品質・価格に対する顧客からの要請
- ③ 同業他社との競争激化

に準備、対処し収益性向上を図ります。

技術者育成 + 環境整備
全社横断 品質・生産性向上

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

21

■ 留意事項

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社トレードワークス
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105
神保町三井ビルディング9F
TEL :03-5259-6611 FAX:03-5259-6612
<https://www.tworks.co.jp/>

©TRADE WORKS Co., Ltd All Rights Reserved.

22